

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2004-145285(P2004-145285A)

【公開日】平成16年5月20日(2004.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2004-019

【出願番号】特願2003-209075(P2003-209075)

【国際特許分類】

G 03 G 21/18 (2006.01)

G 03 G 15/01 (2006.01)

G 03 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/00 5 5 6

G 03 G 15/01 Z

G 03 G 15/01 1 1 4 A

G 03 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月22日(2006.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

主走査方向における印刷媒体の印刷可能領域より狭い幅の像担持体を有する着脱自在な現像ユニットと、

複数の前記現像ユニットが主走査方向にずらして配置されるとともに、主走査方向の前記印刷可能領域を該複数の現像ユニットで分担して画像を形成するように配置され、

前記複数の現像ユニットを駆動する駆動部と、

前記複数の現像ユニットに対して前記分担に応じた印刷情報を設定する印刷情報設定部を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

ひとつの前記現像ユニット内の像担持体のトナー画像形成可能領域端部の一部が、前記ひとつの現像ユニットと並列する他の現像ユニット内の像担持体のトナー画像形成可能領域端部の一部と重なるように配置されることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

複数の前記現像ユニットが配設される現像ユニットガイドを有することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記現像ユニットガイドは、該現像ユニットガイドの一端を回転軸として、開閉自在に設けられることを特徴とする請求項3記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記現像ユニットガイドは、取り外し可能に設けられることを特徴とする請求項3記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記現像ユニットガイドの下面が、印刷媒体搬送路となることを特徴とする請求項3記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記現像ユニットガイドの下面に、印刷媒体搬送方向と平行なリブを有することを特徴とする請求項6記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記現像ユニットは、カラー現像ユニットであることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項 9】

前記現像ユニットが印刷媒体搬送路上に配置されることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項 10】

前記現像ユニットが中間転写体上に配置されることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明の画像形成装置は、主走査方向における印刷媒体の印刷可能領域より狭い幅の像担持体を有する着脱自在な現像ユニットと、複数の前記現像ユニットが主走査方向にずらして配置されるとともに、主走査方向の前記印刷可能領域を該複数の現像ユニットで分担して画像を形成するように配置され、前記複数の現像ユニットを駆動する駆動部と、前記複数の現像ユニットに対して前記分担に応じた印刷情報を設定する印刷情報設定部を有する。